

第 40 回 日本救急医学会中国四国地方会

日時：2024 年 5 月 17 日（金）～18 日（土）

大会長：廣橋伸之（広島大学原爆放射線医科学研究所放射線災害医療開発研究分野）

場所：広島大学霞キャンパス 放射線災害医療研修棟

愛媛県南予地域 MC 協議会における救急救命処置に関するプロトコル改訂

1)南予地域 MC 協議会プロトコル作業部会、2)同 会長

三好宣洋 1)、越智元郎 1)、菊地良夫 1)、宇都宮一哲 1)、渡邊洋介 1)、矢野孝一 1)、阿部直也 1)、根津賢司 2)

【目的】JRC 蘇生ガイドライン 2020 が示されたことを受け、総務省消防庁から令和 5 年 3 月 30 日付け消防救第 84 号通知により救急隊員及び準救急隊員の行う救急処置に関する指針が示された。これに基づき、当地域 MC の各プロトコルの見直しを行った。

【対象と方法】当地域プロトコルにおいて総務省通知と相違のある箇所を抽出し、その結果をもとに、参集での作業部会（2 回開催）とメーリングリスト／ウェブを活用した意見交換を実施した。作業部会がとりまとめた改訂案を当地域 MC 運営委員会へ提出し、令和 6 年 1 月末を期限に意見を募集。3 月から 4 月に掛け試行し、試行中に出た問題点を協議し、最終改訂案を提出。総会にて承認後、正式運用とすることとした。

【結果】本改訂では、「成人の BLS」、「小児・乳児・新生児の BLS」、「人工呼吸・胸骨圧迫の対象、中止基準」、「特定行為・除細動」、「気管挿管」、「包括的指示下除細動」の各プロトコルについて検討し、令和 5 年 11 月改訂案とした。意見が分かれた項目は「目撃無し心静止へのアドレナリン容認」（全例で医師の意向を確認するのか？）、低体温時（正確な体温測定ができず除細動回数を決めにくい、呼吸・脈拍確認に 30 秒以上かけるのか？）などであった。

【まとめ】メーリングリスト上で闊達な意見交換が行なわれた。また、協議事項についてはウェブ上での意見集約を採用し、円滑な改訂作業が行われた。